

3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績

【学校教育法施行規則第172条の2第1項第3号関係】

1) 教職員組織

本学では、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員を置いています。学校教育法の定めるところにより学内に教授会を設置しています。教授会は学長、教授のほか教授会が必要と認める教職員により組織され、学内諸規則の制定・改廃や教育課程、学生の厚生・身分等に係る重要な事案の審議に当たっています。

教員の担当授業等は、毎年度初めに専任・非常勤すべての教員について、それぞれが担当する授業科目ごとに、実施学期、単位数、授業目標、授業計画、評価方法等について決定し、詳細を「授業概要」(シラバス)で告示しています。

本学は開学以来、クラス担任制をとってきており、クラス担任、副担任は、2年間継続的に学生の支援・指導にあたっています。

また、学内に各種専門委員会があり、それぞれ教職員が配属された委員会業務の遂行を通じて学内諸業務の推進を図っています。

2) 教員数 (令和7年4月1日現在)(単位:人)

① 教員数

	専任教員数					設置基準で定める教員数(教授数)	助手	非常勤教員
	教授	准教授	講師	助教	計			
食物栄養学科	3	3	1	1	8	4(2)	3	8
幼児教育学科	3	3	0	0	6	6(2)	0	16
入学定員に応じた数						3(1)		
合 計	6	6	1	1	14	13(5)	3	24

② 専任教員数

学科名	教授		准教授		講師		助教		助手		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
食物栄養学科	2	1	0	3	0	1	0	1	0	3	11
幼児教育学科	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	6
合 計	3	3	1	5	0	1	0	1	0	3	17

③ 年齢ごとの専任教員数

区分	年齢ごとの専任教員数						計
	29才以下	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70才以上	
人数	0	1	4	3	9	0	17
割合%	0%	6%	23%	18%	53%	0	100%
平均年齢	56才						

④ 非常勤教員数

男	女	合計
15	9	24

⑤ 専任教員と兼任教員の比率

比率	
専任	兼任
37%	63%

3) 各教員が有する学位等

令和 7 年 4 月 1 日現在

小林 健雄	【所属】 食物栄養学科	【職位】 教授 (副理事長)	【最終学歴】 慶應義塾大学	【学位】 学士(文学)
	【担当科目】 情報処理演習		【所属学会】 三田教育会	【主な専門分野】 英語・情報
	【主な業績（研究）】			
	【資格・免許、社会活動】 ・高等学校一種免許(英語・情報・社会) ・中学校一種免許(英語・社会)			
畔上一 康	【職位】 学長・教授		【最終学歴】 信州大学教育学部卒	【学位】 教育学士
			【所属学会】 日本教師教育学会 日本生活科総合学会 社会科の初志をつらぬく会	【主な専門分野】 教師教育学 生活科・総合学習指導法
	【主な業績（研究）】			
	1. 著書・論文等 ・著書(共著) 臨床経験の理論と実践, 2023, 北大路書房 ・論文(単著) 子どもの学び 教師の学び, 2013, 中部教育学会紀要 13 号, A4, pp.68-73 ・論文(共著) 附属学校での ICT 活用の広がり, 2014, 信州大学教育学部附属教育実践センター紀要教育実践研究第 15 号 ・論文(単著) 問題解決学習の成立にかかわる一省察 -子どもの「からだ」教師の「からだ」-, 2015, 考える子ども, 第 368 号, 社会科の初志をつらぬく会学会誌 ・論文(単著) 教師の『からだ』を育てる-to have から to be へ-, 2016, 教育実践学研究, 第 17 号第 2 巻, 日本教育実践学会 ・論文(共著) 教職大学院における附属学校園と連携した新任教員研修プログラム, 2018, 日本教育大学協会研究年報第 36 集, 日本教育大学協会 ・論文(単著) 省察的实践を通した教師の「観」の転回と子どもの学び, 2019, 考える子ども第 393 号, 社会科の初志をつらぬく会学会誌 ・論文(単著) 生活科・総合 その学びのゆくえ -教師の観と子どもの学び-, 2019, 教育創造 191 号, 上越教育大学高田研究会 ・論文(単著) バフチンの対話論に基づく問題解決学習の再考 -生活科・総合学習にみる子どもの学びから- 2022, 考える子ども第 412 号, 社会科の初志をつらぬく会学会誌 他 ・紀要(単著) 伊那小学校「総合」の実践 その背景と今日的意義 2025, 長野短期大学研究紀要 第 21 号 2. 学会発表等 ・日本教師教育学会発表『『教師の体』概念の解明を通した省察的実践の原理考察に基づく教師の成長モデルの構築』(2016 年 9 月) ・日本生活科・総合的学習教育学会発表「生活科・総合的な学習における省察的実践に関する研究～教師の成長の視点から「観」の転回に着目して」(2017 年 6 月) ・日本教師教育学会発表「教師の「観」の転回を促す省察的実践に関する研究～文学作品の読みを通して～」(2017 年 9 月)			

	・日本生活科・総合的学習教育学会発表 /生活科及び総合的な学習における省察的実践に関する研究―授業展開と教師のリヴィョイシングに着目して―(2018年6月) ・日本発達心理学会研究大会シンポジウムパネラー「二人称的教育・保育研究は発達心理学に何を示唆するか」(2018年3月) ・日本運動学会シンポジストパネラー「新たな身体概念について ―子どもの体がひらかれるとき―」(2018年3月) ・日本教職大学院協会研究大会シンポジウムパネラー「特色ある教職大学院の取組」(2018年12月) ・日本教師教育学会研究発表/教師の『観』の転回を促す省察的実践に関する研究. ―教師の「観」の自覚化と子どもの学びの深化―(2020年9月) ・日本保育学会シンポジウムパネラー「子どもにとって「楽しい」遊びや活動にするために―アートに取り組む子どもの姿から―」(2022年5月) 他 3.科学研究費助成研究 ・生活科及び総合的な学習における教師の「観」の転回を促す省察的実践モデルの開発, 研究代表, 2017～2020 (基盤C課題番号17K04763) ・バフチンの対話的授業論に基づく省察概念の再考による授業実践モデルの開発, 研究代表, 2021～2024 (基盤C課題番号21K02574)			
	【資格・免許、社会活動】 (免許)小学校教諭一級普通免許状, 中学校教諭一級普通免許状, 高等学校教諭二級普通免許状 (主な社会活動) ○長野県道德教育推進協議会委員長, 2018～2022 長野市いじめ対策委員, 2017～2023 ○講演会等 長野県幼稚園協会総集会 講演会講師, 2016 北信越保育園協会研究大会講演会講師, 2018 富山市保育園協会講演会講師, 2019 岐阜県揖斐幼稚園ワークショップ 講師, 2019～2023 篠ノ井学園研修会講師 ○授業研究会指導(2023年度) ・上高井教育会中心講師, 伊那市立伊那小学校公開授業研究会中心講師, 長野県総合教育センター研修講師, 松本市教育センター講師, 長野県生活科総合研究会講師 ・飯山市立飯山小学校, 山ノ内町立南小学校, 山ノ内町立西小学校, 長野市立松代小学校, 長野市立豊栄小学校, 長野市立城山小学校, 松本市立旭町小学校, 松本市立梓川小学校, 松本市立鎌田中学校, 諏訪市立上諏訪小学校, 諏訪市立城南小学校, 飯田市立座光寺小学校, 南牧村立南牧南小学校, 広島県福山市立立山南小学校 他			
風間悦子	【所属】 食物栄養学科	【職位】 教授	【最終学歴】 実践女子大学	【学位】 学士(家政学)
	【担当科目】 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 公衆栄養学 食品学各論Ⅰ 給食管理実習Ⅱ 総合演習 フードコーディネート論		【所属学会】 日本栄養改善学会 信州公衆衛生学会 日本ヘモレオロジー学会	【主な専門分野】 栄養指導 食育 食文化

	子どもの食と栄養		
	【主な業績（研究）】 ・「糖尿病を治す 365 日 1,400Kcal の献立集」 同文書院 1987 年 3 月 ・「健康血液かんたんレシピ100」 ほおずき書籍 2006 年 9 月 ・「楽しいね！こどもにつくってあげたい食育おやつ」 ほおずき書籍 2012 年 4 月 ・「Food Growth Activity by Doll Play Based on “Dietary Guidelines for Japanese”」(共同研究) 第 15 回国際栄養士会議 パシフィコ横浜 2008 年 9 月 ・「女子学生の居住形態別による血液流動性の比較」 ヘモレオロジー学会 神戸女子大学 2012 年 12 月 ・「厚生労働省科学研究費補助金平成 21～23 年度による研究 デジタルカメラ機能を用いた 24 時間思い出し法に関する検討」 第 35 回長野県栄養改善学会 軽井沢 2012 年 11 月 ・「短期大学の社会人学生の意識調査に関する研究」 長野女子短期大学研究紀要第 13 号 2014 年 3 月 ・「Nagano Pref. is Gold Medal of Longevity in Japan—Food factors for improvement of blood fluidity—」 第 21 回 国際ヘモレオロジー学会(バリ島) 一般講演 2014 年 8 月 ・「長野県民の長寿と食環境要因」 信州大学医学部農村医学会抄録 第 72 回長野県農村医学会 2015 年 7 月 ・「長野県民の地域特産物摂取と血液サラサラ効果の研究」長野女子短期大学研究紀要第 15 号 2019 年 3 月 ・「学生実習で実施した身体測定の結果と測定法の問題点」 長野女子短期大学研究紀要第 15 号 2019 年 3 月 ・「長野女子短期大学生の味覚検査結果」 長野女子短期大学研究紀要第 16 号 2020 年 3 月 ・「女子短大生における嗅覚検査の成績」 長野女子短期大学研究紀要第 18 号 2022 年 3 月 ・「女子短大生における嗅覚検査の成績(第 2 報)」 長野女子短期大学研究紀要第 19 号 2023 年 3 月 ・「我が国の食生活の現状と食育の推進について～青年期の「推定尿中食塩排泄量」「尿中 Na/K 比」と「食習慣」と「健康調査書」との関係～」 長野女子短期大学研究紀要第 19 号 2023 年 3 月		
	【資格・免許、社会活動】 ・管理栄養士 ・ 栄養士 ・信州大学工学部 21 世紀の人類と健康フォーラム・長野 一般講演 講師 信州大学工学部 2009 年 9 月 ・長野県看護協会長野支部食育研修会 講師 (2011 年～2014 年) ・長野県シルバー人材センターライフサポートサービス料理講習会 講師 (2012 年～現在に至る) ・公開講座講師 長野女子短期大学 2011 年 11 月、2012 年 7 月、2013 年 8 月、2014 年 9 月、2017 年 12 月、2018 年 12 月 ・SBC 信越放送テレビ「3 時はららら お料理コーナー」 (2012 年～2016 年) ・フジテレビ「クイズ100人の学者が教えますこれが正解アカデミー」出演 (2013 年 9 月) ・長野県栄養士会研究教育協議会北信支部役員(2012 年～現在に至る) ・内閣府主催第 9 回食育推進全国大会長野県実行委員(2013 年～2014 年) ・長野市立図書館協議会委員(2013 年～2018 年) ・長野市「ながの健やかプラン 21(新・健康ながの 21)」推進市民の会会長(2014 年～2024 年) ・長野県栄養士会理事(2014 年～2024 年) ・長野市保健所運営協議会委員(2014 年～現在に至る) ・長野市健康増進・食育推進審議会委員(2014 年～現在に至る) ・特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト「こどもカフェ」運営委員(2017 年～現在に至る) ・長野県栄養士会北信支部長(2018 年～2024 年) ・長野地域食育推進連絡会委員(2018 年～現在に至る) ・埴科地域包括医療協議会評議員(2018 年～現在に至る) ・長野市社会福祉審議会委員(2020 年～現在に至る)		

	・日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT リーダー(2021 年～現在に至る) ・長野県次期総合 5 か年計画「長野地域計画」策定に係る地域懇談会構成員(2022 年～現在に至る) ・長野県栄養士会監事(2024 年～現在に至る) ・第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野市準備委員会委員(2025 年～現在に至る) ・長野市立図書館協議会委員(2025 年～現在に至る)			
山岸 明子	【所属】 食物栄養学科	【職位】 准教授	【最終学歴】 女子栄養大学	【学位】 学士(栄養学)
	【担当科目】 栄養指導論実習Ⅰ・Ⅱ 調理学実習Ⅰ・Ⅱ 調理学 給食管理実習Ⅱ 総合演習		【所属学会】 日本栄養改善学会、 日本食育学会、 長野県公衆衛生学会	【主な専門分野】 栄養学、調理学
	【主な業績（研究）】 ・「Food Growth Activity by Doll Play Based on “Dietary Guidelines for Japanese”」(共同研究) 第 15 回国際栄養士会議 2008 年 9 月 ・「栄養士による食育人形劇団の活動」(共同研究) 日本食育学会 2010 年 5 月 ・「長野県民の健康長寿と食環境―特定農産物と伝承家庭料理― (共同研究) 21 世紀の人類と健康フォーラム長野 2009 年 2009 年 9 月 ・「長野女子短期大学食物栄養専攻2学年の『私の塩少々』、『私の塩ひとつまみ』の計量 長野女子短期大学研究紀要第 14 号 2016 年 3 月			
	【資格・免許、社会活動】 ・管理栄養士・ ・衛生検査技士 ・調理師			
中野 昌子	【所属】 食物栄養学科	【職位】 准教授	【最終学歴】 日本女子大学大学院	【学位】 博士(学術)
	【担当科目】 給食管理 給食管理実習Ⅰ 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 栄養学各論 フーズスペシャリスト論 総合演習		【所属学会】 日本栄養改善学会 日本食育学会	【主な専門分野】 給食管理 栄養学 食品機能科学
	【主な業績（研究）】 ・「Effect of astaxanthin in combination with α-tocopherol or ascorbic acid against oxidative damage in diabetic ODS rats」 J Nut Sci Vitaminol 2008 年 6 月 ・「Inhibitory effect of astaxanthin combined with Flavenganol on oxidative stress biomarkers in streptozotocin-induced diabetic rats」 Int J Vitam Nutr Res 2008 年 8 月 ・「Heat treatment increase the level of AGEs in human blood」 Anti-Aging Med 2010 年 6 月 ・「Involvement of modification of bone collagen by AGEs in bone quality」 The Bone 2010年8月 ・「Changes in EsculeosideA content in different regions of the tomato fruit during maturation, and heat processing」 J Agric Food Chem 2011年4月 ・「The pentosidine concentration in human blood specimens is affected by heating」 Amino Acids 2013年12月 ・「幼児の食生活習慣と保護者の食育に対する関心との関連」長野女子短期大学研究紀要 第19号 2023年3月 ・「保護者の食意識と幼児の食生活習慣および保護者の食生活との関連」 長野女子短期大学研究紀要			

	第20号2024 年3月			
	・「給食管理実習における疲労自覚症状と生活習慣、不定愁訴との関連」長野短期大学 第21号 2025年3月			
	【資格・免許、社会活動】			
	・管理栄養士 ・養護教諭二種免許状			
中田 麗子	【所属】 食物栄養学科	【職位】 准教授	【最終学歴】 東京大学大学院	【学位】 修士(教育学)
	【担当科目】 基礎英語 栄養英語 英語表現 I, II 子ども家庭支援論		【所属学会】 日本保育学会 日本教育学会 日本比較教育学会 日本教師教育学会 Nordic Educational Research Association (NERA)	【主な専門分野】 比較教育学 保育・幼児教育
	【主な業績（研究）】			
【論文】				
・中田麗子「ノルウェーの保育・教育改革における「遊び」概念の検討」長野短期大学研究紀要（21）65-74 2025 年 3 月				
・野澤祥子・淀川裕美・中田麗子・菊岡里美・遠藤利彦・秋田喜代美「保育・幼児教育施設における新型コロナウイルス感染症に関わる対応や影響についての検討(2)：2020 年度・2021 年度の動向と調査結果から」東京大学大学院教育学研究科紀要 61 331-351 2022 年 3 月 30 日				
・Honjo Megumi, Nakata Reiko. “Rise of public juku in Japan: A possible new role of supplementary tutoring” 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要 14(14) 133-146 2022 年 3 月				
・中田麗子「ノルウェーの幼児教育・保育における標準化と学習重視の動き—H.F.ダーレの博士論文をめぐる論争に焦点を当てて」比較教育学研究 2021(63) 33-46 2021 年 7 月				
・中田麗子「ノルウェーの教師教育における反省的メンタリング—「行為と省察モデル」が直面する問題—」日本教師教育学会年報（17）73-82 2008 年 9 月				
【書籍等出版物】				
・園山大祐編著『若者たちが学び育つ場所：ヨーロッパの早期離学対策の現場から』(担当:分担執筆，範囲:第 7 章 ノルウェーにおける早期離学者への支援:オスロにおける補償教育の事例)ナカニシヤ出版 2024 年 12 月 (ISBN: 9784779518331)				
・佐藤仁編著，日本教師教育学会編『多用な教職ルートの国際比較:教員不足問題を交えて』(担当:分担執筆，範囲:第 2 章 ノルウェーにおける教員養成の高度化と教員不足)学術研究出版社 2024 年 3 月 (ISBN: 9784911008331)				
・中田 麗子，佐藤 裕紀，本所 恵，林 寛平，北欧教育研究会編著『北欧の教育再発見——ウェルビーイングのための子育てと学び』明石書店 2023 年 4 月 30 日 (ISBN: 4750355631)				
・園山，大祐，辻野，けんま編著『コロナ禍に世界の学校はどう向き合ったのか：子ども・保護者・学校・教育行政に迫る』(担当:分担執筆，範囲:ノルウェー コロナ禍の幼稚園の「挑戦」「理想」「敬意)」東洋館出版社 2022 年 2 月 (ISBN: 9784491047607)				
・園山大祐編著『学校を離れる若者たち —ヨーロッパの教育政策にみる早期離学と進路保障』(担当:分担執筆，範囲:ノルウェーにおけるドロップアウトの問題と修了率向上政策)ナカニシヤ出版 2021 年 3 月				
・北欧教育研究会，林寛平，本所恵，中田麗子，佐藤裕紀編著『北欧の教育最前線—市民社会をつくる子育てと学び』明石書店 2021 年 2 月				
・浅井幸子，黒田友紀，杉山二季，玉城久美子，柴田万里子，望月一枝編著『教師の声を聴く—教職のジェンダー研究からフェミニズム教育学へ—』(担当:分担執筆，範囲:ノルウェーにおける教員の男女比と議論の行方)学文社 2016 年 10 月				
・澤野由紀子，中田麗子，林 寛平，本所 恵，渡邊あや監修『【抄訳】PISA を照らす北欧のオーロラ 2009—読解力を中心に—』国立教育政策研究所 2015 年 3 月				
・佐藤 学，澤野由紀子，北村友人編著『揺れる世界の学力マップ』(担当:分担執筆，範囲:ノルウェー 知識の質と不平等をめぐる教育改革の途上で)明石書店 2009 年 4 月				
・Astrid Haukland Andresen, Barbro Helgesen, Marit Larsen 著、中田麗子訳『新しく先生になる人へ—ノルウェーの教師からのメッセージ』新評論 2008 年 11 月				
【学会発表】				
・Reiko Hayashi Nakata “The Concept of “Play” in Swedish and Norwegian ECEC Curricula in the 1990s” The Nordic Educational Research Association, NERA Conference 2025 2025 年 3 月 6 日				
・中田麗子「ノルウェーにおける私立営利保育施設の増加とその影響」日本保育学会第 77 回大会 2024 年 5 月 11				

	日 ・Reiko Hayashi Nakata “Parental involvement in ECEC in the era of marketization: comparison of policy documents in Scandinavian countries” The Nordic Educational Research Association Conference 2024 2024 年 3 月 7 日 ・中田麗子「ノルウェーの教員養成:「主流」ルートの高度化と教員不足」日本教師教育学会 第33回研究大会 課題研究 III 2023 年 10 月 1 日 ・Reiko Hayashi Nakata “Controversy on Early Childhood Education and Care policy and pedagogy in the era of marketization - the case of Norway” The Nordic Educational Research Association Conference 2023 2023 年 3 月 16 日 ・中田麗子「ノルウェーにおける教員養成の高度化と多様化」日本教師教育学会 第 31 回研究大会 課題研究 III 2021 年 10 月 3 日 ・Reiko Nakata “Schoolification of Nordic ECEC policy and its implication to teacher professionalism” European Early Childhood Education Research Association Online Festival 2021 2021 年 9 月 6 日 ・中田麗子「北欧の幼保小接続」日本比較教育学会 第 57 回大会 課題研究 2021 年 6 月 27 日 ・Megumi Honjo, Reiko, Hayashi Nakata “Public Role of Private Education Services in Japan” World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo 2019 年 8 月 6 日 ・中田麗子、林寛平「アメリカの大学アドミッションにおける 非認知的側面の評価に関する研究動向」日本比較教育学会第 52 回大会 2016 年 6 月 25 日 ・Kampe HAYASHI, Rui OTSUKA, Reiko NAKATA “A case Analysis of ‘Class Disruption’ in Japan” European Conference on Educational Research 2013 2013 年 9 月 12 日 ・中田麗子「ノルウェーの移民政策と教育」日本国際教育学会第 22 回大会 2011 年 9 月 11 日			
	【資格・免許、社会活動】 ・高等学校教諭専修免許状(地理歴史) ・中学校教諭専修免許状(社会) ・保育士 ・語彙・読解力検定 準1級 ・英検 1 級 ・ドイツ語技能検定試験 1 級			
小林 詩子	【所属】 食物栄養学科	【職位】 講師	【最終学歴】 新潟大学	【学位】 学士(教育学)
	【担当科目】 スポーツと健康Ⅰ、Ⅱ 運動生理学 生活文化論(マナー教育)Ⅰ、Ⅱ 健康と運動Ⅰ、Ⅱ		【所属学会】	【主な専門分野】 運動方法学(動作分析)
	【主な業績(研究)】 ・「バドミントンにおけるアンダーハンドストロークに関する研究～前方への脚の振り出し動作の分析～」 平成 7 年 10 月、日本体育学会第 45 回大会 ・「新型コロナウイルス感染症(2020 年)の対応と学生のアンケートから考える」 長野女子短期大学研究紀要 第 17 号 2021 年 3 月 ・「幼児の食生活習慣と保護者の食育に対する関心との関連」長野女子短期大学研究紀要 第 19 号 2023 年 3 月			
	【資格・免許、社会活動】 ・高等学校教諭一種免許(保健体育・家庭) ・中学校教諭一種免許(保健体育・家庭) ・長野市レディースバドミントン連盟バドミントンクラブコーチ(2008～2017) ・バドミントン審判資格 3 級 ・長野市レディースバドミントン連盟競技員			
龍野 麻子	【所属】 食物栄養学科	【職位】 助教	【最終学歴】 女子栄養大学	【学位】 学士(栄養学)

	【担当科目】 健康管理概論 総合演習 <給食管理実習Ⅱ、栄養指導論実習Ⅰ、調理学実習Ⅰ・Ⅱ、栄養学実験・実習>		【所属学会】 日本栄養改善学会	【主な専門分野】
	【主な業績（研究）】 ・「女子短大生における嗅覚検査の成績」長野女子短期大学研究紀要第 18 号 2022 年 3 月 ・「前処理方法の違いが大豆のトリプシンインヒビター活性に及ぼす影響」長野女子短期大学研究紀要第 19 号 2023 年 3 月 ・「前処理方法の違いが大豆のトリプシンインヒビター活性に及ぼす影響(続報)」長野女子短期大学研究紀要第 20 号 2024 年 3 月 ・「長野短期大学生の調理技術の実態と課題」長野短期大学研究紀要第 21 号 2025 年 3 月			
	【資格・免許、社会活動】 ・管理栄養士			
吉川晴奈	【所属】 食物栄養学科	【職位】 助手	【最終学歴】 長野女子短期大学	【学位】 短期大学士
	【担当科目】 <食品学実験、食品衛生学実験、解剖生理学実習、栄養指導論実習Ⅱ>		【所属学会】 日本栄養改善学会	【主な専門分野】 栄養指導(食育) 給食管理(大量調理・献立作成)
	【主な業績（研究）】 ・「女子大生における臭覚検査の成績(第 2 報)」長野女子短期大学研究紀要第 19 号 2023 年 3 月 ・長野短期大学生における味覚検査結果一旨味の相乗効果一長野短期大学研究紀要第 21 号 2025 年 3 月			
	【資格・免許、社会活動】 ・管理栄養士 ・フードスペシャリスト ・健康管理士一般指導員 ・調理師 ・栄養教諭二種免許			
平野奈穂	【所属】 食物栄養学科	【職位】 助手	【最終学歴】 長野女子短期大学	【学位】 短期大学士
	【担当科目】 <給食管理実習Ⅰ、生化学実験、給食管理Ⅲ、栄養指導論実習Ⅰ>		【所属学会】	【主な専門分野】
	【主な業績（研究）】 ・「学生実習で実施した身体測定の結果と測定法の問題点」長野女子短期大学研究紀要第 15 号 2019 年 3 月 ・「長野女子短期大学生の味覚検査結果」長野女子短期大学研究紀要第 16 号 2020 年 3 月			
	【資格・免許、社会活動】 ・栄養士 ・フードスペシャリスト			

塚田美紗	【所属】 食物栄養学科	【職位】 助手	【最終学歴】 長野女子短期大学	【学位】 短期大学士
	【担当科目】 〈調理学実習Ⅰ・Ⅱ、栄養学各論実習、 臨床栄養学実習〉		【所属学会】 日本栄養改善学会	【主な専門分野】 給食管理 栄養指導(食育)
	【主な業績(研究)】 ・「長野短期大学生の調理技術の実態と課題」 長野短期大学研究紀要第21号 2025年3月			
	【資格・免許、社会活動】 ・栄養士 ・フードスペシャリスト			

浅倉恵子	【所属】 幼児教育学科	【職位】 教授	【最終学歴】 大学院修士課程修了	【学位】 教育学修士
	【担当科目】 幼児と表現(音楽表現) 保育内容指導法(音楽表現) 幼児と音楽 教育実習指導、教育実習 生活と音楽		【所属学会】 日本ダルクローズ音楽教育学会 日本乳幼児教育学会 日本音楽知覚認知学会	【主な専門分野】 保育学、幼児教育学 音楽教育学
	【主な業績(研究)】 ○著書 ・幼児リミック 創英社 1989年4月 ・表現(幼児音楽) 幼児の表現活動と保育者の援助 (共著) 保育出版社 1994年10月 ・リミック実践の現在 (共著) 開成出版 2008年10月 ・音楽表現(新・保育内容シリーズ)(共著) 一藝社 2010年4月 ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド(共著) 同文書院 2011年5月 ・保育士・幼稚園教諭・小学校教諭養成課程のリミック 創英社 2012年9月 ・コードで簡単 ピアノ弾き歌い80(共著) 圭文社 2014年4月 ・リミック教育研究—理論と実践の調和を目指して— (共著) 開成出版 2015年3月 ・手遊びから音楽身体表現あそびへー指導案で示した保育の展開例 堀江出版/風詠社 2017年4月/2020年 9月 ○論文 ・幼児音楽教育の意味 浜松短期大学論集 No.35 1987年11月 ・幼児教育における理念及び方法としてのリミック 浜松短期大学論集 No.36 1988年7月 ・『音楽リズム』から『表現』へー幼稚園教育要領改訂の問題点とこれからの表現教育ー浜松短期大学論集 No.39 1989年12月 ・幼児は音楽を創造するか 季刊音楽教育研究 33 巻 No.3(音楽之友社) 1990年7月 ・表現保育にリミックを活用する 浜松短期大学論集 No.46 1993年11月 ・脳科学に基づいた3歳までの教育 浜松短期大学論集 No.49 1995年7月 ・幼児教育におけるリミック指導法 浜松短期大学論集 No.52 1996年12月 ・音楽の舞踊化 —音楽と舞踊の関係を踏まえて—プラスティック・アニメとして見たバランシンによる音楽の視覚化 —バレエ《ロベルト＝シューマンのダヴィッド同盟舞曲集》の分析を通して— 群馬松嶺福祉短期大学紀要第5 2004年3月 日本ダルクローズ音楽教育学会誌「ダルクローズ音楽教育研究」第29号 2005年3月			

	・楽曲分析からプラスチック・アニメへの変換 日本ダルクローズ音楽教育学会誌「ダルクローズ音楽教育研究」 第30号 2006年3月 ・Effects of the movement of the body on music performance Journal of Modern Education Review Vol.6, No.5 2016年5月 ・大正中期から昭和初期の唱歌遊戯—土川五郎、戸倉ハルの唱歌遊戯作品を比較して 常葉大学保育学部紀要 第七号 2020年3月 ○学会発表 ・大学の授業「音楽リズム」の発表 日本女子体育連盟全国大会・大学部会(於静岡) 1987年11月 ・表現について—音楽身体表現に関する教育現場における指導と大学の授業 —全日本音楽教育連盟全国大会・ 大学部会(於浜松) 1995年10月 ・The Role of Rhythm in Early Childhood (幼児期におけるリズムの役割) 3e GrandCongre International du Rythme 第3回リズム国際会議(於ジュネーブ) 1999年7月 ・パネル発表「ピアノ学習にリトミックをどのように生かすか」 日本ダルクローズ音楽教育学会第2回研究大会 (於東京教育専門学校) 2002年11月 ・バランシンの作舞法 —その徹底した音楽の視覚化— 比較舞踊学会第17回大会(於文化女子大学) 2006年 11月 ・プラスチック・アニメの楽しみ The Role of Body Movement in Listening to a Musical Composition(楽曲聴取にお ける身体運動の役割) 日本ダルクローズ音楽教育学会第41回研究例会(於東京家政大学) 2008年6月 第10回音楽知覚認知国際会議(於北海道大学) 2008年8月 ・Child Rearing Support in Kindergartens: An educational program for two-year-old children and their parents 幼稚園における子育て支援としての2歳児親子教室のプログラム 13th Pacific Early Childhood Education Research Association (於 Nanyang Technology of University シンガポール) 2012年7月 ・小学校体育のリズムダンスにリトミックを活用する 日本ダルクローズ音楽教育学会第10回研究大会(於東京 家政大学) 2013年11月 ・Effects of the movement of the body on music performance(身体の動きの音楽演奏への効果) 2015 International symposium of performance science(於龍谷大学) 2015年9月 ・東京女子高等師範学校保育実習科における昭和初期の保育者養成Ⅱ—川上ノートに記された遊戯—日本乳幼 児教育学会第26回大会(神戸女子大学) 2016年11月 ・幼児期の表現教育 —Y幼稚園のカリキュラムを通して—日本乳幼児教育学会第27回大会(西南学院大学) 2017年11月 ・大正後期から昭和初期の唱歌遊戯—土川五郎、戸倉ハルに着目して 日本乳幼児教育学会第28回大会(岡山) 2018年12月 ・The application of body movements to singing children's songs 2019 International symposium on performance Science (メルボルン) 2019年7月 ・An effective and enjoyable training program for the elderly: Singing songs accompanied with their bodily movements 2021 International symposium on performance science(オンライン) 2021年10月
	【資格・免許、社会活動】 【免許】中学校一級、高等学校二級普通免許(音楽) 【社会活動】日本ダルクローズ音楽教育学会理事

	【所属】 幼児教育学科	【職位】 教授	【最終学歴】 東北大学大学院博士課程	【学位】 博士(教育学)
	【担当科目】 ・教育相談 ・特別支援教育・保育論Ⅱ ・心理アセスメント基礎 ・心理学的支援法基礎		【所属学会】 ・日本特殊教育学会 ・日本発達障害学会 ・日本発達心理学会 ・日本教育心理学会 ・日本教育史研究会 ・日本小児神経学会 ・全国障害者問題研究会	【主な専門分野】 ・障害児心理学 ・特別支援教育 ・精神医療史 ・近現代教育史
細 淵 富 夫	【主な業績（研究）】 ○著書・編著・分担執筆 ・『戦後自閉症児教育研究資料集』全3巻、クロスカルチャー出版、2023年11月 ・『特別の支援を必要とする子どもの理解』、建帛社、2023年4月 ・『障害の重い子どもの発達と生活』、全国障害者問題研究会出版部、2020年8月 ・『資料集成 精神障害兵士「病床日誌」』第1・2巻、六花出版、2016年12月 ・『障害児学童疎開資料集』、六花出版、2017年5月 ・『特別支援教育研究文献要覧』、日外アソシエーツ、2014年7月 ・『テキスト肢体不自由教育』、全国障害者問題研究会、2014年5月 ・『発達障害支援ハンドブック』、金子書房、2012年 ・『学校と子ども理解の心理学』、金子書房、2010年 ・『障害の重い子どもの発達と指導』、全国障害者問題研究会出版部、2007年8月 ・『日本帝国陸軍と精神障害兵士』、不二出版、2006年12月 ・『重症心身障害児の定位探索行動に関する教育実践的研究』、風間書房 ○論文等 ・「自閉スペクトラム症概念の歴史と動向(1)、川口短期大学紀要、第36号、2023年3月 ・「インクルーシブ教育とは何か」、『目隠し遊びで始めるインクルーシブ教育』菊原伸郎他編、2023年6月 ・「超重症児の内面世界と教育的対応の課題」、障害者問題研究、47(2)、2019年8月 ・「障害の重い子どものコミュニケーションの力を育てる」、肢体不自由教育、235号、2018年、5月 ・「知的障害のない自閉症スペクトラム障害児の初期発達に関する研究:4カ月児のホームビデオ記録を用いて」 埼玉大学紀要、教育学部、66(2)、2017年3月 ・「フィンランドにおける子どもの育ちを支える教育事情:ネウボラとエシコウルにみる就学前期を継続的に支える しくみ」、埼玉大学紀要、教育学部、64(2)、2015年3月 ・「特別な支援を要する子どもを持つ保護者の気づきに関する研究」、埼玉大学紀要、教育学部、63(2)、 2014年 3月 ・「特別支援教育に関する教育心理学的な研究動向と課題」、教育心理学年報、53号、2014年3月 ・「重症心身障害児の終末期医療とグループケアをめぐる」、発達障害研究、35(2)、2013年5月 ・「重症心身障害児療育史研究(2)ーおばこ天使の集団就職ー」埼玉大学紀要、教育学部、2011年3月 ・「重症児教育(療育)実践の動向と課題」、障害者問題研究、36(3)、2008年9月 ・幼稚園教諭を対象にした保育現場における軽度発達障害児の意識調査」、埼玉大学紀要、教育学部、57(1)、 2008年3月 ・「強度行動障害」と「動く重症児問題」、障害者問題研究、33(1)、2005年5月 ・「重症心身障害児(者)の療育研究における成果と課題」、特殊教育学研究、42(3)、2004年5月			

	・「重症心身障害児療育の歴史―重症児施設設立の経緯を中心に―」、障害者問題研究、31(1)、2003 年 5 月 ・「日本帝国陸軍と精神障害兵士―国府台陸軍病院『病床日誌』に見る戦争神経症患者の生活史的検討―」、精神医学、44(8)、2002 年 8 月 ・「重症心身障害児の療育史研究(1)―療育施設の成立過程と療育思想―」、埼玉大学紀要教育学部、教育科学 51(1)、2002年 9 月			
	【資格・免許、社会活動】 ・公認心理師 ・臨床発達心理士 ・全国障害者問題研究会「障害者問題研究」編集委員長 ・日本発達障害学会 評議員 ・国立大学法人東京学芸大学 経営協議会委員 ・国立大学法人東京学芸大学 学長選考・監察会議委員 ・日本社会事業大学 非常勤講師(「障害児の生理・病理・心理」担当) ・埼玉県教育委員会免許法認定講習(特別支援教育)講師 ・さいたま市教育委員会免許法認定講習(特別支援教育)講師 ・川越市教育委員会免許法認定講習(特別支援教育)講師 ・全埼玉私立幼稚園連合会 理事 ・さいたま市私立幼稚園協会 理事 ・埼玉県立日高特別支援学校 学校評議員 ・さいたま市立田島小学校 学校評議員 ・社会福祉法人東埼玉 中川の郷(重症児施設) 評議員			
副島里美	【所属】	【職位】	【最終学歴】	【学位】
	幼児教育学科	教授	東京家政大学大学院	博士(学術)
	【担当科目】 教育原理 保育原理 保育内容総論 教育方法論 保育環境指導法(環境) 幼児と環境 特別支援教育・保育論Ⅰ 特別支援教育・保育論Ⅱ 子ども家庭福祉 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ		【所属学会】 日本保育学会 日本乳幼児教育学会 こども環境学会 日本子育て学会 日本 LD 学会 日本発達心理学会	【主な専門分野】 保育学 (保育者の成長、特別支援教育、環境)
	【主な業績(研究)】			
	【著書】 『障害児保育』2009.4 共著 同文書院 『新版 遊びの指導 乳幼児編』2009.5 共著 同文書院 『保育内容 環境』2009.11 共著 光生館 『演習 保育方法の探求』2010.11 共著 建帛社 『障がい児保育の基礎』2014.4 共著 わかば社			

『保育者のためのキャリア形成論』 2015.2 共著 建帛社

『保育内容の基礎と演習』 2015.3 共著 わかば社

『保育方法の基礎』 2015.4 共著 わかば社

『保育原理』 2016.4 共著 一藝社

『保育者論』 2016.4 共著 一藝社

『家族支援論・保育相談支援』 2017.9 学文社

『保育内容シリーズ 環境』2018.2 一藝社

『保育内容シリーズ 人間関係』2018.2 一藝社

『保育原理の基礎と演習』 2023.11 わかば社

【論文】

- ・統合保育における障害幼児と健常幼児の仲間関係
宇都宮大学教育学部 附属教育実践センター紀要第 25 号 p191～200 2002.4
- ・実習園が求める「実習生らしさ」が実習生の保育者アイデンティティの形成に及ぼす影響（複数査読有）
全国保育士養成協議会『保育士養成研究』 第 26 号 p 1～10 2009.3
- ・保育者アイデンティティに関する研究の動向と展望－日本における保育者アイデンティティ研究－
大妻女子大学 家政学部紀要 第 45 号 p25～34 2009.3
- ・保育者アイデンティティの形成と危機体験の関連性の検討（複数査読有）
日本乳幼児教育学会 『乳幼児教育学研究』 第 18 号 P89～100 2009.12
- ・保育者アイデンティティの形成過程における「揺らぎ」と再構築の構造についての検討（複数査読有）
日本保育学会『保育学研究』 第 48 巻第 2 号 p 107～118 2010.12
- ・保育を志す学生のアイデンティティ「揺らぎ」と「危機」について－（査読有）
スペース新社保育研究室企画（相川書房）第 17 巻第 1 号 p69～79 2012.9
- ・行事による子どもの成長観の検討－学生の幼児期の行事に対する考えと振り返りから－（査読有）
岐阜聖徳学園大学教育学部紀要 第 53 集 p91～103 2013.2
- ・大学生が幼児期に読んだ絵本を振り返る意味とは－授業内での「絵本」の作成を通して見えてくるもの－
（査読有） 2013 年度 岐阜聖徳学園大学教育実践センター紀要 p161～168 2013.2
- ・近年のわが国における「子どもの成長観」の変遷とその背景（査読有）
スペース新社保育研究室企画（相川書房）第 19 巻第 1 号 p49～63 2014.6
- ・学生の自発的な「子育て支援活動の実践」の教育的意味づけ－サークル活動を通しての保育者としての成長－（査読有） 2014 年度 岐阜聖徳学園大学教育実践センター紀要 2014.2
- ・保育方法としての情報機器導入に関する検討－学生のアプリ体験を通して再考する－（査読有）
2015 年度 岐阜聖徳学園大学 教育実践センター紀要 2015.2
- ・子育て環境の向上に資する公園の在り方－「プレーパーク」から考える子どもの成長発達－（査読有）
授業研究会『研究雑誌『授業研究報告集』 通巻第 16 号 p 1-8 2018.6
- ・幼稚園教育実習における対処行動に関する研究（Ⅰ）－対人関係ストレスへの対処行動と精神的健康との関連－ 静岡県立大学短期大学部 研究紀要 31-W 号 p 1-10 2017.12
- ・幼稚園教育実習における対処行動に関する研究（Ⅱ）－教育実習第 1 期・第 2 期における対人関係ストレスの変化－静岡県立大学短期大学部 研究紀要 33-W 号 p 1-9 2019.12
- ・食物アレルギーがある子どもを担当する保育者の意識調査－就学前クラスを担当する保育者に焦点をあてて－（査読有） 授業研究会 『研究雑誌『授業研究報告集』 2020.10 通巻第 17 号 p 8-16
- ・子どもが感じる街なかの興味関心－幼児の街風景の捉え方・保育者の支援のあり方－
静岡県立大学短期大学部 研究紀要 34-W 号 p 1-10 2021.12
- ・グラフィック・ファシリテーション（GF）を用いた園内研修の効果検証（1）－園内の同僚性は改善されるのか－（査読有） 授業研究会 『研究雑誌『授業研究報告集』 2021.6 通巻第 18 号 p 17-25
- ・グラフィック・ファシリテーション（GF）を用いた園内研修の効果検証（2）－園内への広がりとの問題点－（査読有） 授業研究会 『研究雑誌『授業研究報告集』 2021.6 通巻第 18 号 p 26-33
- ・職員居心地の良い職場環境の探求－7 年間の軌跡－ 2024.12 大谷保育協会『ほいくしんり』vol.17 p88-97
- ・小規模保育における遊び環境の検討－野外保育との連携を通して－2025.3 長野短期大学研究紀要 p 13-22

【報告書等】

- ・子どもとの社会－健やかな成長を支える社会環境を考えるための WS－（単著）2019.2 平成 29 年度地域志向研究報告書
- ・静岡公園マップ（単著）2019.5 静岡市緑地政策課との共同企画
- ・フィンランド視察報告書（単著）2019.10

	・歩くしかけづくりとしての「静岡・健康まちあるきマップ」(共著) 2020.2 静岡県立大学街づくりワーキンググループ 【学会発表等】		
	【資格・免許、社会活動】 【資格・免許】 図書館司書資格 (1987.3) 特別支援教育士資格 (2002.3) 保育士資格 (2002.11) 【社会活動】 岐阜市可能幼稚園評議員 (2013.4～2015.3) 静岡県牧之原市社会福祉事業団理事 (2019.6～現在に至る) こども環境学会評議員 (2020.2～現在に至る)		
	【所属】 幼児教育学科	【職位】 准教授	【最終学歴】 愛知教育大学大学院修了 【学位】 修士(教育学)
水野道子	【担当科目】 幼児と表現(造形表現)、保育内容指導法(造形表現)、幼児と造形、保育・教職実践演習(幼稚園)、教育実習、教育実習指導		【所属学会】 大学美術教育学会 日本保育学会 中部教育学会 美術科教育学会
	【主な業績(研究)】 ・明治期の幼稚園「手技」教授方法の検討-縫取- 中部教育学会 2023年6月 ・「表現指導法」共著 萌文書林 2024年4月		
	【資格・免許、社会活動】 小学校教諭1級普通免許、中学校教諭1級普通免許(美術)、高等学校教諭1級普通免許(美術) 幼稚園教員免許状所持者のための免許状更新講習講師(神奈川県・愛知県)		
	【所属】 幼児教育学科	【職位】 准教授	【最終学歴】 福島学院大学大学院 心理学研究科 こども心理専攻 【学位】 修士
中野明子	【担当科目】 保育原理、保育者論、保育の心理学、子ども家庭福祉、保育・教職実践演習(幼稚園)、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、保育実習Ⅱ指導、保育実習Ⅲ指導		【所属学会】 ・日本保育学会 ・日本応用心理学会
	【主な業績(研究)】 【著書】 「多文化保育・教育論」株式会社みらい 第4節「中国(上海)における子育て支援の現状」執筆 2014年4月 「保育原理－はじめて保育の扉をひらくあなたへー」株式会社みらい 第9章「保育者の専門性」執筆 2017年4月 「コンパス乳児保育」建帛社 第9章「子育てをめぐる家族の権利と責任」執筆 2018年2月 「保育原理－はじめて保育の扉をひらくあなたへー」第2版 株式会社みらい(編者として編集)2019年4月 「保育者のための外国人保護者支援の本」かもがわ出版 第4章「園の多文化化のために知っておきたいこと多文化保育のために園ができることー保育者のエピソードからー」執筆 2020年2月 「保育原理－はじめて保育の扉をひらくあなたへー」第3版 執筆 編集(編者) (株)みらい 2025年3月15日発行 (編集頁P1～P181) 【学術論文】 「子どもの育ちに関わる自己肯定感についての一考察」(査読付) 福島学院大学研究紀要第49集 2015年2月		

	「保育者の役割の理解を促す授業の教材について―多文化保育・教育の授業における保育学生の感想に注目して―」(査読付)福島学院大学研究紀要第 54 集 2018 年 3 月 「砂遊びが育む自己肯定感についての一考察」砂遊びイベントにおける学生ボランティアの感想をふまえて(査読付)福島学院大学研究紀要第 56 集 2019 年 3 月 「絵本が育む『自己肯定感』に関する一考察」一子育て世代の母親から支持されている絵本の存在をふまえて―(査読付)福島学院大学研究紀要第 58 集 2020 年 3 月 【学会発表】 「多文化保育・教育における保育者・教師の役割や専門性」日本保育学会第 69 回大会 自主シンポジウム開催 (学芸大学小金井市)2016 年 5 月 「多文化保育・教育における保育者・教師の役割や専門性1アンケート調査をもとに保育者・教師の保育・教育観」の育成について―口頭発表 日本保育学会第 71 回大会(宮城女子大学)2018 年 5 月 「東日本大震災以降の福島における砂場の取り戻しと新たな価値の創造―砂場の意義を見直し市民に伝える学生の学びと役割―」日本保育学会第 71 回大会 自主シンポジウム開催(宮城女子大学)2018 年 5 月 「日本の多文化化と外国人保護者支援―外国につながる子どもの保護者―」口頭発表 日本保育学会第 72 回大会(東京家政大学)2019 年 5 月 「長野短期大学 研究紀要 第 21 号」《実践報告および事例》令和 7 年 3 月 21 日発行 (掲載頁 P75～P82) テーマ:令和 6 年度 長野市版ブックスタート「おひざで絵本事業」 絵本選定委員の立場から捉えた実践報告			
	【資格・免許、社会活動】 【資格・免許】 保育資格(福島女子短期大学)昭和 57 年 3 月 幼稚園教諭 2 種免許状(福島県教育委員会)昭和 57 年 3 月 保育士資格証(千葉県)平成 16 年 2 月 保育実習指導者認定証(全国保育士養成協議会)令和 4 年 3 月 【地域貢献】 ・桑折町教育委員会主催「保育研究会」講師及び公開保育の指導助言(平成 22 年～令和元年) ・福島学院大学教員免許状更新講習「選択領域 手遊びの世界を広げよう」講師(平成 22 年～30 年) ・福島ヤクルト販売(株)主催「保育士研修会」講師(平成 22 年～令和元年) ・福島サンドアートフェスティバル学生ボランティア研修・引率(平成 27 年～令和元年) ・福島市産官学プラットフォーム事業「保育士キャリア形成」座長 (平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月) ・子育て支援事業 JA 共済「ママフェス」 オープニングステージ企画演出 (令和元年～令和 5 年) ・浪江町教育委員会主催「浪江にじいろこども園職員研修会」 講師 (令和 5 年) ・福島市子育て支援センター連絡会主催「職員研修会」 講師 (令和 5 年) ・長野市おひざで絵本事業絵本選定委員(令和 6 年 7 月 1 日～現在に至る)			
白金俊二	【所属】 幼児教育学科	【職位】 准教授	【最終学歴】 星槎大学大学院教育学研究科	【学位】 修士(教育)
	【担当科目】 幼児と健康 保育内容指導法(健康) 幼児と運動 健康と運動Ⅰ・Ⅱ		【所属学会】 日本幼児体育学会 日本体育・健康・スポーツ学会 日本学校保健学会	【主な専門分野】 体育科教育学 子どもの運動遊び

	【主な業績（研究）】 <u>著書・教科書等</u> ・体動かせ人と関われ頭使え 共著：篠原菊紀・寺沢宏次・柳澤秋孝・白金俊二編集 ほおずき書籍 2010 年 8 月 ・保育内容の指導法健康・表現（音楽・造形） 共著：白金俊二・山田真治・米窪洋介 学術文芸出版 2020 年 9 月 ・運動遊びのアイデア BOOK 単著 ほおずき書籍 2021 年 5 月 ・保育内容の指導法健康 単著 学術文芸出版 2022 年 9 月 ・健康と運動の理論と実践 単著 学術文芸出版 2022 年 9 月 ・スポーツの実践と教材化 単著 学術文芸出版 2022 年 10 月 <u>学会発表</u> ・児童会保健体育委員会が推進する健康課題への取り組みー地域学校保健委員会への児童会参加の試みー第 61 回日本学校保健学会学術大会 2014 年 11 月 ・A 小学校における体力向上の取り組みー全校一斉体制での新体力テスト測定に焦点を当ててー 日本発育発達学会第 13 回大会 2015 年 3 月 ・幼稚園年長児の自由遊び中の基本動作と体力・運動能力 日本体育学会甲信地域長野体育学会第 52 回大会 2017 年 3 月 ・小学校高学年を対象とした複数種目のスポーツ教室の意義と今後の展開 日本幼児体育学会第 17 回大会 2021 年 9 月 ・未就学児の運動教室「わくわくボールゲーム教室」における運動遊びの実践ー運動遊びのメニューの体系化と子どもの実際ー 日本幼児体育学会第 18 回大会 2022 年 9 月 <u>論文・寄稿等</u> ・技能の向上を実感できる体育学習ー小学校高学年のマット運動の学習過程の工夫ー 単著 松本短期大学研究紀要第 26 号 2017 年 3 月 ・技能の向上を実感できる体育学習ー小学校高学年のゴール型ゲームの教材化と実践的研究ー 単著 松本短期大学研究紀要第 27 号 2018 年 3 月 ・児童が主体的に推進する保健活動ー地域学校保健委員会への児童会参加の試みー 単著 松本短期大学幼児保育学科研究年報第 1 巻 2018 年 3 月 ・学校保健委員会の活性化に向けて 単著 松本短期大学研究紀要 31 号 2021 年 3 月 ・A 短期大学幼児保育学科 1 年生の体力や運動習慣についてー2019 年度と 2020 年度・2021 年度の比較からー 単著 松本短期大学研究紀要 32 号 2022 年 3 月 ・中学 1 年生におけるバレーボールの授業研究ーバレーボールの導入教材「ソフトバレーボール」の実践を通してー 単著 長野短期大学研究紀要第 21 号 2025 年 3 月 ・特集 1 幼児期における運動の大切さ（寄稿） 一般社団法人長野県私立幼稚園協会編おさなご Vol.288 長野県民新聞社 2015 年 10 月 ・安曇野市教育第 19 号（寄稿）「安曇野市教育会総集会 子どもとメディアの関係性とメディアコントロールの必要性」2025 年 3 月 【資格・免許、社会活動】 ・小学校教諭一種免許状 ・中学校教諭一種免許状（保健体育） ・高等学校教諭二種免許状（保健体育） ・公益財団法人全日本スキー連盟認定スキー検定 テクニカルプライズ ・バルシューレ指導者ライセンス C 級 ・南木曾町健康づくり計画策定懇話会健康づくり部委員（2017～2018 年） ・健康寿命延伸都市松本創造協議会委員（2019～2021 年） ・松本山雅 FC スポーツクラブ事業わくわくボールゲーム教室・マルチスポーツ教室講師（2019～） ・アンテロープ塩尻ジュニア、ジュニアユースコーチ（2007～） ・長野県体育センター・教育センター研修講座担当講師（2018～） ・白金先生の運動教室 ー自宅で手軽にできる運動遊びー 木曽広域ケーブルテレビ（2020 年 4～5 月） ・ガチャとショータも挑戦！白金先生の運動教室 木曽広域ケーブルテレビ（2020 年 6～7 月） ・松本山雅 FC 裏新体制発表会 松本山雅 FC 公式チャンネル （2021 年）
--	--